津奈木町立小中学校の耐震化の状況・学校別一覧

（平成２５年４月１日現在）

〈用語の解説〉

１ 「構造」欄に「RC」とあるのは鉄筋コンクリート造を、「S」とあるのは鉄骨造をいいます。

２ 「区分」欄に「旧基準」とあるのは新耐震基準施行（昭和５６年）以前に建築されたものを、「新基準」とあるのは新耐震基準施行後に建築されたものをいいます。

３ （１）「新基準」との表示のあるものは、耐震性がありますので、「区分」欄から右の各欄は、すべて「－」となっております。

（２）「旧基準」との表示のあるもののうち、改修済のものについては、「改修済」と記載した上で、「改修年度」及び「改修後」の「Is値」及び「q値」（後述）をそれぞれの欄に掲げております。

（３）「旧基準」との表示のあるもののうち、未改修のものについては、「優先度調査」、「第１次診断」又は「２次診断」のいずれかが実施されていますので、これらのいずれか該当する欄にそのデータを掲げてあります。

４ （１）「優先度調査」は、正確には「耐震化優先度調査」といい、学校の設置者が、どの学校施設から耐震診断を実施すべきか、その優先度を検討することを主な目的として実施するもので、優先度の高いものから順に、１から5までのランク付けをすることとなっています。

「優先度調査」を実施した年度を「年度」欄に、優先度ランクを「ランク」欄に掲げてあります。

（２）「第１次診断」は、個別の建物の耐震性能を簡略に評価する診断方法です。

「第１次診断」を実施した「年度」及び「Is値」（後述）を、それぞれの欄に掲げてあります。

（３）「第２次診断」は、個別の建物の耐震性能を詳細に評価する診断方法です。

「第２次診断」を実施した「年度」並びに「Is値」及び「q値」（後述）を、それぞれの欄に掲げてあります。

５ （１）「Is」（構造耐震指標）は、建築物の耐震性能（地震に対する安全性）を数値化したもので、その値が大きいほど耐震性能が高いことを表します。

国土交通省告示等によれば、第１次診断により算定したIs値が０．８以上の場合及び第２次診断等により算定したIs値が０．７以上の場合は、耐震性がある建物ということになります。

（２）「q」（保有水平耐力に係る指標）は、地震による水平方向の力に対して建物が対応する強さを表すもので、その値が大きいほどよく、１．０以上が目標値とされています。

学校名	棟用途	棟		建築年月	構造	階数	面積	区分	優先度調査		第１次診断		第２次診断		改修	改修後	
		番号	枝番				（㎡）		年度	ランク	年度	Is値	年度	Is値	年度	Is値	q値
津奈木小学校	普通教室（低学年）	1	0	S44.3	RC	1	680	旧基準					17	0.95			
	普通教室（高学年）	2	1	S45.3	RC	2	2,011	旧基準					17	0.33	21	0.74	
	体育館渡り廊下	6	0	S52.2	S	2	75	旧基準	18	3			20	0.36	22	0.92	
	屋内運動場	7	1	S48.3	S	1	567	旧基準					18	0.31	22	0.80	
平国小学校	管理・普通教室棟	1		S55.3	RC	1	295	旧基準	18	5			23	1.04			
	特別教室棟	2		S55.3	RC	2	880	旧基準	18	4			23	0.57			
	普通教室棟	3		S55.3	RC	1	310	旧基準	18	5			23	1.50			
	特別教室棟	7		S55.3	RC	1	149	旧基準	18	4			23	0.87			
	屋内運動場	4		S60.3	RC	1	680	新基準	―	―	―	―	―	―	―	―	―
津奈木中学校	普通教室棟	1		S48.2	RC	3	1519	旧基準					18	0.41	21	0.73	
	管理棟	2		S48.2	RC	2	451	旧基準					18	0.30	21	0.72	
	特別教室棟			S48.5	RC	3	781	旧基準									
	屋内運動場	10		H23.3	S	1	959	新基準	―	―	―	―	―	―	―	―	―